(独)日本スポーツ振興センター(国立登山研修所) 提出資料

- 〇独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所 平成29年度事業計画
- 〇栃木県那須町の雪崩事故を踏まえた対応について
- ○独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所概要 (パンフレット)

高校生等の冬山・春山登山の事故防止 のための有識者会議 (平成29年9月26日)

盂 쌔 冊 麼 件 29 出 片 胎 極 田 日 妳 낚 H I カンタ 酃 ーシ帯 本ンポ Ш 立行政法人 烘

画

【主催事業(一般研修会)】

\$	茶		日 日 日	():	研修程品	条
	7,			K N	17112 - 201171	シルバオ甘井
十二	1.5五/6.4	98 🗆 7	(令)日 90~(十)日 00 日 3	<i>\$</i> 00	登山研修所	
人子社は日ご~~-年日年10月7日	五字形		(用)□ 07~(丁)□ 07 斤 0	8 4	剱岳周辺	各大学が推薦する男女学生で登山活動を行うクラブやサークル等に 1 年以上所
大学生登山リーダー夏山研修会	山研修会	1 日間	8月26日(土)~9月1日(金)	30 名	登山研修所剱岳周辺	属し、活動しているリーダー若しくはリーダー候補者 春山研修会 … 「雪上研修コース」「山岳スキー研修コース」を設定 夏山研修会 … 「登はん研修コース」「縦走研修コース」を設定
大学生登山リーダー冬山研修会	山研修会	1 日間	3月10日(土)~16日(金)	30 名	登山研修所大日岳周辺	冬山研修会 …「雪上研修コース」を設定
4年 日本	第1回	3日間	6月23日(金)~25日(日)	35名	後 日 日 名	所属団体の所属長等推薦する (ア)都道府県山岳連盟(協会)・各山岳会(クラブ)のリーダー若しくはリーダー候補者 (イ)小学校・中学校・高等学校・高等専門学校等の野外活動及び登山(山岳)部の指導者 (ウ)大学の登山活動を行う
メエム I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	第2回	3日間	11 月 3 日(金)~5 日(日)	35名	·周辺山域	クラブやサークル等の指導者(顧問・コーチ等)・在籍1年以上のリーダー・リーダー候補 (エ)都道府県・市区町村の野外活動担当者及び地域・職域における登山の指導者 (オ)その他中高年登山者(中高年安全登山指導者講習会修了者を含む)の指導に携わる者
中高年安全登山	東部地区(静岡県)	3 日間	9月22日(金)~24日(日)	50 名	静岡県 竜爪山周辺	地域、職域等における中高年登山クラブ(グループ)のリーダー・指導者、都道府県山岳連盟(協会)の関係者、都道府県・市区町村の関係者(登山担当者、ス
指導者講習会 *2	西部地区 (山口県)	3日間	10 月 7 日(土)~9 日(月)	50 名	山口県陶ヶ岳周辺	ポーツ推進委員等)、旅行会社等が主催する中高年を対象としたツアー登山の 関係者(企画担当者、引率者等)、その他中高年登山の指導に関わる者
山岳遭難救助研修会		誯日 9	10 月 16 日(月)~20 日(金)	40 名	登山研修所報報勢公等	山岳遭難救助組織の指導的立場にある者(警察・消防・自衛隊等職務で山岳 漕難救助に集わる者、民間救助組織において集わる者)
} } } } } }	× +7, == -	# E			(

地形図を中心に登山計画を立案して、チーム全体を安全に率いることのできる能力を身に付け指導・普及を図るコースと岩場等におけるロープを用いた安 全確保を中心に、その理論的裏付けと技術を身に付け指導・普及を図るコースの2コースを設定、同様の内容で、2 回開催 : 安全登山普及指導者中央研修会 *

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、開催都道府県(教育委員会)と共催(主管:開催都道府県山岳連盟) *2 中高年安全登山指導者講習会

【主催事業(講師研修会)

 $\widehat{\blacksquare}$ 読図(6月13日~15日)、救助技術 I (9月26日~28日)、救助技術 I (10月14日~15日)冬山(2月20日~23

【共催事業】

ジュニア登山教室 in 立山 … 8月17日(木)~20日(日) 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会との共催事業 … 7月7日(金) スポーツ庁・警察庁・消防庁・気象庁等との共催事業(東京都内開催) 国立立山青少年自然の家との共催事業 安全登山のための公開講座 …公益社団法人日本山岳ガイド協会との共催事業 5 月~11 月(全国 12 都市で開催) 8月8日(火)~16日(水) チャレンジ&チェンジ!真夏のアドベンチャー … 全国山岳遭難対策協議会

富山県中新川郡立山町芦峅寺ブナ坂 6 独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所 (担当:宮田・滝川) FAX.076-481-1534

TEL.076-482-1212

栃木県那須町の雪崩事故を踏まえた対応について

独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所

【今年度の取組】

(1) 安全登山普及指導者中央研修会(第1回)における、高等学校の教職員を対象とした新た な研修内容の企画・実施

期日:6月23日(金)~25日(日)

会場:登山研修所及び周辺山域 募集人員:35名(33名参加、うち、高等学校教員8名)

- ・「高校山岳部等での安全対策について」の講義を実施し、安全登山の手立てとしての体制 作りや家庭との連携、安全管理などについて話題提供を行った。
- ・教職員間で部活動運営や登山指導について意見交換を行う時間を設けた。
- (2) 安全登山普及指導者中央研修会(第2回)における、高等学校の教職員を対象としたコースの新設

期日:11月3日(祝)~5日(日)

会場:登山研修所及び周辺山域 募集人員:35名

- ・「高等学校等教職員研修コース」を新たに設けた。
- ・第1回同様に「高等学校山岳部等での安全対策について」の講義を実施することに加え、 登山に関する基礎的な事柄を学んでもらうために、「登山の仕組み」「プランニング」の 講義を実施する予定である。
- ・実技を通して、知識や技術、体力面で未熟な高校生を引率するということを念頭においた 山行中に想定される危険や安全管理について実践してもらうとともに、研究協議(グルー プディスカッション)により、危機管理についての意識を高めてもらうことをねらう。

(3) 「高等学校等安全登山指導者研修会」の新規開催

期日:12月10日(日)、11日(月)

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター 募集人員:50名程度

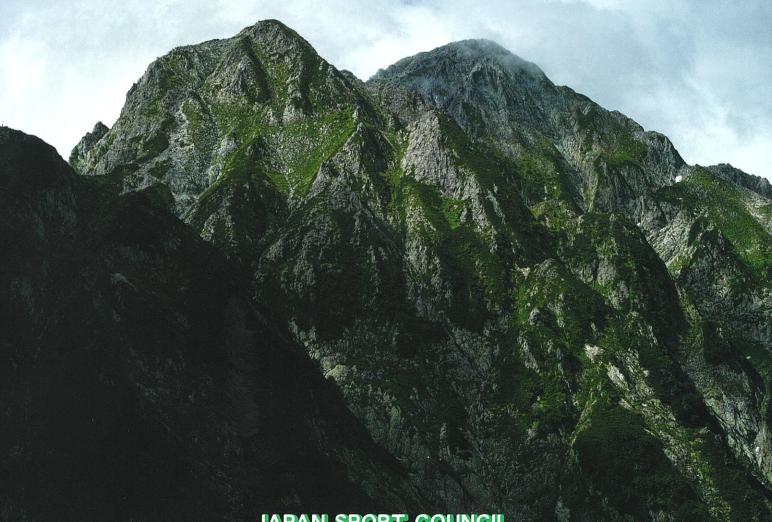
- ・登山経験の浅い教職員が山岳部等の顧問となり、指導者となるケースが見られることから、登山に関する基礎的な事柄についての学習を通し、安全な登山の指導者としての資質向上を図る。
- ・「登山の基本」「積雪と雪崩」「登山の医学」などの分野のうち、基礎的なものを予定している。また、グループディスカッションを通して、危機管理に関する意識を高めることも ねらう。

(4) 冬山に関する講義資料を用いた情報提供(ホームページ上)の実施

・国立登山研修所で現在行っている冬山に関する研修会(大学生登山リーダー冬山研修会) で使用している講義資料(「雪氷学の基礎(仮)」「冬山の気象(仮)」「雪崩リスク管理 (仮)」等)、をホームページに掲載し、情報提供を行う。



独立領政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所概要



JAPAN SPORT COUNCIL

National Center for Mountaineering Education

일본 스포츠 협의회 국립등산연수소 소개 我が国の登山の健全な発展を図るため、昭和42年に文部省登山研修所として開所して以来、登山指導者養成のための研修事業や登山に関する情報提供等を行い登山事故の防止に努めています。

The National Center for Mountaineering Education was opened in 1967 by the Education Ministry to promote the sound development of safe mountain climbing by training mountain climbing instructors and providing of information with the aim of preventing alpine accidents.

등산의 건전한 발전을 도모하기 위해여 1967년에 문부성 등산 연수소로서 개소된 이래 등산 지도자의 양성을 위한 연수 사업 및 등산에 관한 정보 제공 등을 실시하여 등산 사고 방지에 주력하고 있습니다.

1. 沿革	
昭和39年	富山県中新川郡立山町芦峅寺ブナ坂 (千寿ヶ原) に登山研修所を設置することを決定
41年 7月 42年 7月 43年10月	登山研修所起工式 登山研修所開所式 夏山前進基地 (剱沢) 竣工
44年11月	冬山前進基地 (千石) 竣工
46年 3月	ロッククライミング訓練施設竣工
49年12月 54年 3月	トレーニング室竣工 超短波業務無線局 (もんぶたてやま) 開局
54年 3月	山岳模型 (剱岳周辺地形模型 縮尺1:3000) 設置
54年 9月	夏山前進基地増築
55年10月	山岳トレーニングコース竣工
62年 1月	研修所庁舎大浴室改修
63年12月	ロッククライミング訓練施設改修及び測定 室・照明塔新設
	冬山前進基地改修 山岳スキー訓練場拡幅
7年 9月	夏山前進基地増築
8年 3月	スポーツクライミング用人工壁設置(トレーニング室内)
8年 9月	夏山前進基地改修 (室内模様替)
9年11月 11年 3月	創立30年記念式典 低酸素室設置 (宿泊室改修)
13年10月	冬山前進基地改修 (屋根・トイレ等)
14年11月	冬山前進基地積雪計測用ポール設置
15年 3月	山岳トレーニングコース再整備、研修所庁 舎厨房改修
16年 9月	夏山前進基地改修 (バイオトイレ)
10/11/1	

16年11月 研修所空調設備改修

History

여형

History		연혁	
1964	Decision to establish the	1964년	도야마현 나카니이카와군
	National Center for		다테야마마치 아시쿠라지
	Mountaineering Education in		부나자카(센주가하라)에
	Senjugahara.Location:		등산연수소 설치를 결정
	(Bunazaka, Ashikuraji,		W. Marine and Co.
	Tateyama-machi, Nakaniikawa-gun,		
	Toyama Prefecture).		
Jul 1966	Groundbreaking ceremony	66년 7월	등산연수소 기공식
Jul 1967	Opening ceremony	67년 7월	등산연수소 개소식
Oct 1968	Summer base camp at	68년10월	여름산 베이스 캠프
	Tsurugisawa completed.		(츠루기사와) 준공
Nov 1969	Winter base camp at	69년11월	겨울산 베이스 캠프(센고쿠)
	Sengoku completed.		준공
Mar 1971	Rock climbing practice wall	71년 3월	암벽 등반 훈련시설 준공
	completed.		
Dec 1974	Training room completed.	74년12월	트레이닝실 준공
Mar 1979	VHF wireless station at	79년 3월	초단파 업무 무선국
	Mombu Tateyama began		(몬부타테야마) 개국
	operations.		
Mar 1979	Mountain relief model (Mt.	79년 3월	산악 모형(츠루기다케 주변
	Tsurugidake, topography		지형 모형 ; 축척 1 : 3000)
	1:3000 scale) installed.		설치
Sep 1979	Professional Control of State Control of	79년 9월	여름산 베이스 캠프 증축
	(Tsurugisawa) expanded.		
Oct 1980	A CONTRACTOR OF THE PROPERTY O	80년10월	산악 트레이닝 코스 준공
	completed.		
Jan 1987		87년 1월	연수소청사 대목욕탕 개수
	facilities upgraded.	00144001	
Dec 1988	Rock climbing practice wall	88년12월	암벽 등반 훈련시설 개수 및
	upgraded. Measurement		측정실·조명탑 신설
	room, and lighting		
Mar 1992	equipment added.	92년 3월	겨울산 베이스 캠프 개수
Dec 1993	7.00 Ay 10.00 00	93년 12월	서울선 베이스 펌트 개구 산악스키 훈련장 확대
Dec 1993	field expanded.	336129	연기교기 문단이 되대
Sep 1995	200	95년 9월	여름산 베이스 캠프 증축
00p 1000	expanded.	002 02	VIDE 511 VID 0 2 3 7
Mar 1996	Indoor sport climbing wall	96년 3월	스포츠 클라이밍용
	installed inside training room.		인공벽설치(트레이닝실)
Sep 1996	100 M	96년 9월	여름산 베이스 캠프 개수
	(interior remodeling).		(실내 리모델링)
Nov 1997		97년11월	창립 30년 기념식전
Mar 1999	Low-oxygen rooms installed	99년 3월	저산소실 설치(숙소)
	and sleeping rooms		the management of the second of
	refurnished.		
Oct 2001	Winter base camp roofs	01년10월	겨울산 베이스 캠프 개수
	and toilets upgraded.		(지붕·화장실등)
Nov 2002	Snow depth meter installed	02년11월	겨울산 베이스 캠프 적설
	at winter base camp.		계측용 폴 설치
Mar 2003	Mountain training path	03년 3월	산악 트레이닝 코스 재정비,
	improved and main kitchen		연수소 청사 주방 개수
	upgraded.		
Sep 2004	Summer base camp	04년 9월	여름산 베이스 캠프 개수
	upgraded with biotoilets.		(바이오 화장실)
Nov 2004	Main facilities air conditioning	04년11월	연수소 공조 설비 개수

system upgraded.

18年 3月	ロッククライミング訓練施設改修 スポーツクライミング用人工壁一部改修
19年 8月	登山研修所建築改修 (山岳トレーニングコース、女子トイレ等)
20年 3月	登山研修所宿泊室外建築改修(宿泊室)
21年 4月	独立行政法人日本スポーツ振興センターに 移管
21年12月	冬山前進基地積雪等自動観測開始
22年10月	大韓民国国立公園管理公団山岳安全教育センターとの事業協力に関する協約書の締結
22年12月	トレーニング室耐震改修
23年11月	冬山前進基地改修 (バイオトイレ、内装、 一部外壁)
24年 1月	研修所給湯設備その他改修 (燃料のガス化、浴室)

Mar 2006	Rock climbing practice wall
	and part of the indoor sport
	climbing wall upgraded.
Aug 2007	Main facilities upgraded.
	(mountain training path,
	women's toilets etc,)
Mar 2008	Center sleeping facilities
	exterior refurnished.
Apr 2009	Center management
	transfered to the National
	Agency for the Advancement
	of Sports and Health.
Dec 2009	Winter base camp
	automated snow
	observation started.
Oct 2010	Cooperation agreement
	signed with Korean National
	Park Service Mountain
	Safety Education Center.
Dec 2010	Training rooms reinforced
	for earthquakes.
Nov 2011	Winter base camp upgraded
	with biotoilets, interior and
	the exterior are repaired in
	part.
Jan 2012	Main building hot water
	installation upgraded to gas
	system, bath is repaired in
	part.

06년 3월	암벽 등반 훈련시설 개수
	스포츠 클라이밍용
	인공벽 일부 개수
07년 8월	등산연수소 건축 개수(산악
	트레이닝 코스, 여자
	화장실등)
08년 3월	등산연수소 숙박실 외부
	건축 개수(숙박실)
09년 4월	독립행정법인
	일본스포츠진흥센터로 이관
09년12월	겨울산 베이스 캠프 적설량
	등 자동관측개시
1017109	
10년10월	대한민국 국립공원관리공단 산악안전교육센터와의 사업
	현력에 관한 협약 체결
	합국에 전한 합국 제절
10년12월	트레이닝실 내진 개수
101122	_대이6일 대단 개千
11년11월	겨울산 베이스캠프 개수
	(바이오 화장실, 내장,
	일부외벽)
12년 1월	연수소 급탕시설 기타설비
	개수 (연료의 가스화, 욕실)

2. 組織 Organization 조직

日本スポーツ振興センター 理事長・理事 JAPAN SPORT COUNCIL President・Executive Director

専門調査委員会

Expert Investigative Committee

国立登山研修所の研修事業の効果的な運営や安全な研修の実施等について調査・研究するため専門調査委員(20名以内)を委嘱しています。

The Expert Investigative Committee (maximum of 20 persons) is resposible with the conducting of surveys and research to ensure effective management and safe training at the National Center for Mountaineering Education.

국립등산연수소의 연수 사업의 효과적인 운영 및 안전한 연수 실시 등에 대하여 조사·연구하기 위해 전문 조사위원(20명 이내)을 위촉하고 있습니다.

国立登山研修所 National Center for Mountaineering Education 所長 Office Director 主任専門職 Deputy Division Manager 専門職 Section Chief

管理係 Administrator



▲山岳模型 (剱岳周辺地形模型;縮尺1:3000)





3. 施設

1) 本館

所 在 地 富山県中新川郡立山町 芦峅寺ブナ坂6(千寿ヶ原)

480m 敷地面積 26.114㎡

本館1,658㎡、トレーニング室337㎡、 建物面積

車庫その他205㎡

収容人員 74名

② 低酸素室 (平圧環境下)

酸素濃度

所 在 地 本館3F宿泊室(7号室、10号室) $20.9 \sim 12.7\%$

> (7号室0~4,000m相当) 20.9~9.8%

(10号室0~6,000m相当)

③ スポーツクライミング用人工壁

所 在 地 本館トレーニング室内壁面 高さ6m~8m 幅17m 面積118㎡

F·R·P(強化プラスチック)製

④ 夏山前進基地

所 在 地 富山県中新川郡立山町芦峅寺ブナ坂 外11国有林123イ林小班(剱沢)

高 2.450m

敷地面積 725 m² 154 m² 建物面積

鉄骨羽目板造平家建

収容人員 60名

⑤ 冬山前進基地

所 在 地 富山県中新川郡上市町千石南無阿

外4国有林136ろ林小班(人津谷上

部の鞍部) (千石) 1,310 m

敷地面積

550 m² 169 m²

建物面積

鉄骨2階建

収容人員 70名

⑥ ロッククライミング訓練施設

付属施設

所 在 地 研修所敷地内

高さ17.5m、縦11m、横13m 鉄筋コンクリート造り、モルタル

吹付け、一部自然石造り 照明塔1基(400W×6灯)、

様式4角錐台(頂部3m×5m)、

動歪測定器を備えた墜落確保練習

装置があります。

Facilities

(1) Main Building

6 Bunazaka (Senjugahara), Ashikuraji, Tateyama-machi,

Nakaniikawa-gun, Tovama

Prefecture

480m

Site Area 26.114m

loor Space Main Building 1,658 m, Training

Rooms 337 m, parking and other

areas 205 m²

Capacity 74 persons

2 Low Oxygen Rooms (Normal Pressure)

Location Main Building Rooms 7 and 10,

3F Sleeping area

Room 7:20.9~12.7% (approx. 0~4,000 meters)

Room 10:20.9~9.8%

(approx. 0~6,000 meters)

③ Indoor Sport Climbing Wall

Main Building Training Room, Height 6~8m, Width 17m,

Face area 118 m

4 Summer Base Camp

Location Tsurugisawa

Elevation 2.450m Site Area 725 m

154 m² 60 persons

5 Winter Base Camp

Sengoku

Site Area 550m

Elevation 1,310m

169 m²

Capacity 70 persons

夏山前進基地 Summer Base Camp

冬山前進基地 Winter Base Camp

国立登山研修所(空撮)

for Mountaineering Education

Aerial view of the National Center

スポーツクライミング用人工壁

Indoor sport climbing wall



ロッククライミング訓練施設 Rock climbing practice wall

6 Rock Climbing Practice Wall

Width 13m

National Center for

Mountaineering Education grounds Height 17.5m, Length 11m,

4. 施設の利用 Facility Usage 시설의 이용

登山関係団体の主催する登山指導者研修会等に、国立登山研修所の施設等を提供し、必要に応じてそれらの研修会の運営等について、指導、助言を行います。

Mountain climbing groups can utilize the center facilities to organizes and hold mountain climbing instructor workshops or similar courses. Additionally, the National Center for Mountaineering Education can provide guidance and advice on holding such workshops upon request.

등산 관계 단체가 주최하는 등산 지도자 연수회 등에 국립 등산 연수소의 시설 등을 제공하여 필요시에는 연수회의 운영 등에 대한 지도, 조언을 실시합니다.

5. 事業概要 Types of Activities 사업 개요

- (1) 各種研修会、講習会の開催
- (2) 登山に関する最新の知見や技術等についての情報提供
- (3) 登山関係団体等の研修事業への施設提供、指導・協力
- (1) Holds various courses and training classes.
- (2) Providing information regarding the latest mountain climbing knowledge and techniques.
- (3) Provision of facilities, instruction and cooperation to climbing groups for training workshops.
- (1) 각종 강습회, 강습회의 개최
- (2) 등산에 관한 최신 지식과 기술 등에 대한 정보 제공
- (3) 등산 관계 단체 등의 연수 사업에 대한 시설 제공, 지도·협력



大学生登山リーダー研修会 Training workshop for university mountaineering leaders.



山岳遭難救助研修会 Rescue training workshop for alpine accidents.



安全登山普及指導者中央研修会 Central training course for mountain safety instructors.

■お問い合わせ・所在地 Inquiries and Access 문의·소재지

- ●各研修事業の詳細や施設利用の申込み方法等については、国立登山研修所までお問い合わせ下さい。
- Please direct all inquiries regarding training courses and facility usage to the National Center for Mountaineering Education.
- ●각 연수 사업의 상세 설명과 시설 이용의 신청 방법 등에 대해서는 국립등산연수소에 문의하시기 바랍니다.

独立行政法人日本スポーツ振興センター **国立登山研修所**

〒930-1405

富山県中新川郡立山町芦峅寺ブナ坂 6 (千寿ヶ原) TEL (076) 482-1211,1212 FAX (076) 481-1534 E-mail:tozanken-data@jpnsport.go.jp URL http://www.jpnsport.go.jp/tozanken

◆交通案内

●電車

JR富山駅下車-富山地方鉄道立山線立山駅 下車徒歩 2 分

●マイカー

立山 I Cから約25km、車で約35分 富山 I Cから約35km、車で約45分

Japan sport council National Center for Mountaineering Education

〒930-1405

6, Bunazaka, Ashikuraji, Tateyama-machi, Nakaniikawa-gun, Toyama (Senju-ga-hara) TEL +81-(0)76-482-1211,1212 FAX +81-(0)76-481-1534 E-mail:tozanken-data@jpnsport.go.jp URL http://www.jpnsport.go.jp/ tozanken

Access Information

Railway

Take the "Toyama chihou tetsudou" Tateyama Line from the JR Toyama Station to the Tateyama Station. From there 2minutes walk to the center.

●Car

About 35 minutes (25km) from the Tateyama IC About 45 minutes (35km) from the Toyama IC

독립행정법인 일본스포츠진흥센터 국립등산연수소

〒 930-1405 도야마현 나카니카와군 다테야마마치 아시쿠라지 부나자카 6(센주가하라) TEL +81-(0)76-482-1211,1212 FAX +81-(0)76-481-1534 E-mail:tozanken-data@jpnsport.go.jp URL http://www.jpnsport.go.jp/

tozanken

◆교통 안내

●철도

JR도야마역에서 하차 - 도야마지방 철도다테야마선 다테야마역 하차 도보 2분

●자가용 다테야마 IC에서 약35분(약25km) 도야마 IC에서 약45분(약35km)

